



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 清水銀行

コード番号 8364 URL <https://www.shimizubank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 岩山 靖宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合統括部長

(氏名) 大木 康正

TEL 054-353-5162

定時株主総会開催予定日 2022年6月23日

配当支払開始予定日

2022年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月23日

特定取引勘定設置の有無

無

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	27,421	△1.3	3,984	14.7	2,580	19.3
2021年3月期	27,782	△4.1	3,475	—	2,163	—

(注) 包括利益 2022年3月期 △3,788百万円 (—%) 2021年3月期 5,179百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	222.69	221.81	3.1	0.2	14.5
2021年3月期	186.69	186.17	2.6	0.2	12.5

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 ー百万円 2021年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	1,808,806	82,569	4.5	6,993.66
2021年3月期	1,795,397	87,071	4.8	7,388.40

(参考) 自己資本 2022年3月期 81,039百万円 2021年3月期 85,610百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計ー期末新株予約権ー期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	77	△28,354	△719	185,640
2021年3月期	141,149	△20,733	△661	214,634

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	695	32.1	0.8
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	695	26.9	0.8
2023年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00	—	—	—

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,100	△1.7	2,300	△30.0	1,600	△34.7	138.08
通期	27,800	1.4	3,400	△14.7	2,200	△14.7	189.86

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

特定子会社の異動には該当しておりませんが、次の連結子会社が異動しております。

清水銀キャリアアップ株式会社は、2021年6月30日付で解散し、2021年9月30日付で清算終了したため、中間期より連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	11,641,318 株	2021年3月期	11,641,318 株
② 期末自己株式数	2022年3月期	53,830 株	2021年3月期	54,201 株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	11,587,431 株	2021年3月期	11,586,718 株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、添付書類12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	21,229	△2.9	3,445	2.2	2,239	1.4
2021年3月期	21,874	△5.9	3,370	—	2,208	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	193.24	192.48
2021年3月期	190.65	190.12

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	1,797,996	77,904	4.3	6,715.05
2021年3月期	1,784,805	82,912	4.6	7,149.32

(参考) 自己資本 2022年3月期 77,810百万円 2021年3月期 82,840百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2023年3月期の個別業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	△2.9	2,100	△32.4	1,500	△35.9	129.45
通期	21,600	1.7	3,100	△10.0	2,100	△6.2	181.23

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当期の経営成績の概況	2
（2）当期の財政状態の概況	2
（3）当期のキャッシュ・フローの概況	2
（4）今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
（1）連結貸借対照表	4
（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
（3）連結株主資本等変動計算書	7
（4）連結キャッシュ・フロー計算書	9
（5）連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（会計方針の変更）	10
（セグメント情報）	11
（1株当たり情報）	12
（重要な後発事象）	12
4. 個別財務諸表	13
（1）貸借対照表	13
（2）損益計算書	15
（3）株主資本等変動計算書	16
5. その他	18

※2022年3月期（2021年度）決算説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期中におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた経済活動が正常化に向かうなかで、個人消費および企業の生産活動ならびに設備投資は総じて持ち直しの動きがみられました。しかし、一部業種では、ウクライナ情勢を受けた原材料価格の高騰や感染症がもたらす供給面での制約などにより、持ち直しの動きに足踏みがみられました。

当行の主要営業基盤である静岡県経済につきましても、基調としては持ち直しておりますが、飲食サービス業や宿泊業では感染症の影響が残るなど、厳しい状況となりました。雇用・所得環境につきましては、労働需給が改善傾向にありますが、雇用者所得は悪化しております。

金融環境につきましては、国内長期金利は、日本銀行の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」のもと0%近辺で推移し、期末には0.210%となりました。

このような状況のなか、当行グループの経常収益は、有価証券関連収益の減少等により、前期比3億61百万円減少の274億21百万円となりました。経常費用は、経費及び与信関係費用の減少等により、前期比8億71百万円減少の234億36百万円となりました。この結果、経常利益は39億84百万円となりました。

セグメントごとの損益状況は、「銀行業」の経常収益は、有価証券関連収益の減少等により、前期比6億45百万円減少の212億29百万円、経常利益は、前期比74百万円増加の34億45百万円となりました。また、「リース業・クレジットカード業」の経常収益は、リース料収入の増加等により、前期比80百万円増加の63億30百万円、経常利益は、前期比3百万円減少の2億41百万円、信用保証業務等の「その他」の経常収益は、前期比20百万円増加の11億55百万円、経常利益は、前期比2億52百万円増加の3億24百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

預金につきましては、地域に密着した営業基盤の拡充に努めた結果、前期末比249億円増加の1兆5,157億円、個人預かり資産につきましては、お客さまの多様化するニーズにお応えするなか、個人預金、個人年金保険等が増加した結果、前期末比531億円増加の1兆3,068億円となりました。

貸出金につきましては、地域金融機関としてお客さまの資金需要に積極的に応えた結果、前期末比136億円増加の1兆2,178億円となりました。

有価証券につきましては、市場動向を注視しつつ、機動的な運用を行った結果、前期末比252億円増加の3,353億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、譲渡性預金の減少等により、前期比1,410億72百万円減少の77百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出の増加等により、前期比76億20百万円減少の△283億54百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額の増加等により、前期比58百万円減少の△7億19百万円となりました。

この結果「現金及び現金同等物」の当期末残高は、前期末比289億94百万円減少の1,856億40百万円となりました。

(4) 今後の見通し

(2023年3月期の業績見通し)

2023年3月期については、連結ベースでは、経常収益278億円、経常利益34億円、親会社株主に帰属する当期純利益22億円、単体ベースでは、経常収益216億円、経常利益31億円、当期純利益21億円と予想しております。

新型コロナウイルス感染症による影響は、一定期間継続することを想定しておりますが、状況が変化した場合には今後の業績に影響を与える可能性があります。

(利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当)

利益配分につきましては、経営体質の強化と今後の経営環境変化への備えのため内部留保を確保するとともに、株主の皆さまへ安定的な配当を継続することを基本としております。

期末配当金につきましては、当初予想通りの1株当たり30円(年間60円)とさせていただきます。また、次期の1株当たりの配当金につきましては、中間配当金30円、期末配当金30円(年間60円)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当行グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び銀行間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
現金預け金	216,190	186,746
商品有価証券	523	563
金銭の信託	1,000	1,000
有価証券	310,148	335,368
貸出金	1,204,283	1,217,888
外国為替	1,939	771
リース債権及びリース投資資産	13,628	14,397
その他資産	30,482	30,723
有形固定資産	17,420	17,291
建物	7,169	6,958
土地	9,113	8,999
リース資産	4	4
その他の有形固定資産	1,132	1,328
無形固定資産	503	621
ソフトウェア	366	516
リース資産	19	1
その他の無形固定資産	117	104
退職給付に係る資産	206	358
繰延税金資産	2,308	4,755
支払承諾見返	4,658	5,344
貸倒引当金	△7,897	△7,025
資産の部合計	1,795,397	1,808,806
負債の部		
預金	1,490,782	1,515,749
譲渡性預金	69,400	-
債券貸借取引受入担保金	22,914	41,212
借入金	111,455	151,452
外国為替	9	9
その他負債	8,172	11,271
賞与引当金	469	469
退職給付に係る負債	357	305
役員退職慰労引当金	47	38
システム解約損失引当金	-	295
繰延税金負債	60	88
支払承諾	4,658	5,344
負債の部合計	1,708,326	1,726,237
純資産の部		
資本金	10,816	10,816
資本剰余金	7,643	7,642
利益剰余金	64,060	65,922
自己株式	△248	△246
株主資本合計	82,272	84,134
その他有価証券評価差額金	2,991	△3,785
繰延ヘッジ損益	71	274
退職給付に係る調整累計額	275	415
その他の包括利益累計額合計	3,337	△3,095
新株予約権	72	93
非支配株主持分	1,388	1,436
純資産の部合計	87,071	82,569
負債及び純資産の部合計	1,795,397	1,808,806

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）	当連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）
経常収益	27,782	27,421
資金運用収益	15,531	15,835
貸出金利息	12,502	12,478
有価証券利息配当金	2,903	3,046
コールローン利息	0	-
預け金利息	111	307
その他の受入利息	13	2
役務取引等収益	10,276	10,559
その他業務収益	1,195	638
その他経常収益	779	388
その他の経常収益	779	388
経常費用	24,307	23,436
資金調達費用	562	454
預金利息	345	278
譲渡性預金利息	1	0
コールマネー利息	△1	△5
債券貸借取引支払利息	178	142
借入金利息	33	29
その他の支払利息	5	10
役務取引等費用	6,008	6,067
その他業務費用	567	911
営業経費	15,488	15,165
その他経常費用	1,681	837
貸倒引当金繰入額	1,453	476
その他の経常費用	227	360
経常利益	3,475	3,984
特別利益	-	40
固定資産処分益	-	40
特別損失	27	355
固定資産処分損	0	0
減損損失	26	59
システム解約損失引当金繰入額	-	295
税金等調整前当期純利益	3,447	3,669
法人税、住民税及び事業税	1,144	985
法人税等調整額	95	31
法人税等合計	1,240	1,016
当期純利益	2,207	2,652
非支配株主に帰属する当期純利益	44	71
親会社株主に帰属する当期純利益	2,163	2,580

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	2,207	2,652
その他の包括利益	2,972	△6,441
その他有価証券評価差額金	2,332	△6,784
繰延ヘッジ損益	43	203
退職給付に係る調整額	596	140
包括利益	5,179	△3,788
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,133	△3,852
非支配株主に係る包括利益	46	63

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,816	7,648	62,534	△257	80,741
会計方針の変更による累積的影響額			-		-
会計方針の変更を反映した当期首残高	10,816	7,648	62,534	△257	80,741
当期変動額					
剰余金の配当			△637		△637
親会社株主に帰属する当期純利益			2,163		2,163
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△4		9	5
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	△4	1,525	9	1,530
当期末残高	10,816	7,643	64,060	△248	82,272

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	660	27	△320	367	59	1,343	82,512
会計方針の変更による累積的影響額						-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	660	27	△320	367	59	1,343	82,512
当期変動額							
剰余金の配当							△637
親会社株主に帰属する当期純利益							2,163
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							5
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,330	43	596	2,970	13	44	3,027
当期変動額合計	2,330	43	596	2,970	13	44	4,558
当期末残高	2,991	71	275	3,337	72	1,388	87,071

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,816	7,643	64,060	△248	82,272
会計方針の変更による累積的影響額			△23		△23
会計方針の変更を反映した当期首残高	10,816	7,643	64,036	△248	82,248
当期変動額					
剰余金の配当			△695		△695
親会社株主に帰属する当期純利益			2,580		2,580
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△1		2	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△1	1,885	2	1,885
当期末残高	10,816	7,642	65,922	△246	84,134

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	2,991	71	275	3,337	72	1,388	87,071
会計方針の変更による累積的影響額						△13	△37
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,991	71	275	3,337	72	1,374	87,033
当期変動額							
剰余金の配当							△695
親会社株主に帰属する当期純利益							2,580
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,776	203	140	△6,433	21	61	△6,349
当期変動額合計	△6,776	203	140	△6,433	21	61	△4,464
当期末残高	△3,785	274	415	△3,095	93	1,436	82,569

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）	当連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,447	3,669
減価償却費	1,150	1,018
減損損失	26	59
貸倒引当金の増減（△）	855	△872
賞与引当金の増減額（△は減少）	0	△0
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△206	△152
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△576	△51
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△9	△9
睡眠預金払戻損失引当金の増減（△）	△5	-
システム解約損失引当金の増減（△）	-	295
資金運用収益	△15,531	△15,835
資金調達費用	562	454
有価証券関係損益（△）	△1,065	190
金銭の信託の運用損益（△は運用益）	△9	△6
為替差損益（△は益）	△2,847	△5,286
固定資産処分損益（△は益）	0	△39
商品有価証券の純増（△）減	51	△39
貸出金の純増（△）減	△54,296	△13,604
預金の純増減（△）	107,648	24,967
譲渡性預金の純増減（△）	69,400	△69,400
借入金（劣後特約付借入金を除く）の純増減（△）	43,983	39,997
預け金（日銀預け金を除く）の純増（△）減	336	448
コールマネー等の純増減（△）	△2,176	-
債券貸借取引受入担保金の純増減（△）	△25,558	18,298
外国為替（資産）の純増（△）減	△17	1,168
外国為替（負債）の純増減（△）	7	△0
リース債権及びリース投資資産の純増（△）減	△1,302	△1,382
資金運用による収入	15,408	16,179
資金調達による支出	△605	△546
その他	2,809	2,030
小計	141,482	1,551
法人税等の支払額	△333	△1,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,149	77
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△70,556	△143,874
有価証券の売却による収入	32,941	97,233
有価証券の償還による収入	16,786	19,000
金銭の信託の減少による収入	209	6
有形固定資産の取得による支出	△385	△865
無形固定資産の取得による支出	△89	△285
有形固定資産の売却による収入	365	440
資産除去債務の履行による支出	△4	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,733	△28,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△24	△22
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△634	△694
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△661	△719
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	119,756	△28,994
現金及び現金同等物の期首残高	94,878	214,634
現金及び現金同等物の期末残高	214,634	185,640

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、役務取引等収益の一部について、従来は顧客からの対価受領時に一時点で収益を認識しておりましたが、財又はサービスが提供されたときに収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、当行、連結子会社6社で構成され、銀行業務を中心にリース業務など金融サービスに係る事業を行っております。事業セグメントのうち、セグメント情報の開示が必要な「銀行業」及び「リース業・クレジットカード業」を報告セグメントとしております。「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務等であります。

「銀行業」は、預金業務、貸出金業務、内国為替業務、外国為替業務、商品有価証券売買業務、有価証券投資業務、投資信託販売業務、保険代理店業務、金融商品仲介業務等を行っております。

「リース業・クレジットカード業」は、連結子会社の清水リース&カード株式会社において、リース業務及びクレジットカード業務を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するにあたり適用した会計処理方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業・クレジットカード業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	20,977	6,015	26,992	428	27,421	—	27,421
セグメント間の内部経常収益	251	315	567	726	1,293	△1,293	—
計	21,229	6,330	27,559	1,155	28,714	△1,293	27,421
セグメント利益	3,445	241	3,687	324	4,011	△26	3,984
セグメント資産	1,797,996	19,630	1,817,626	3,332	1,820,958	△12,152	1,808,806
その他の項目							
減価償却費	886	121	1,007	11	1,018	—	1,018
資金運用収益	15,940	55	15,996	2	15,999	△163	15,835
資金調達費用	480	166	646	1	648	△193	454
貸倒引当金繰入額	541	△26	514	△37	476	△0	476
減損損失	59	—	59	—	59	—	59
有形固定資産及び無形固定資産増加額	1,056	6	1,063	17	1,080	—	1,080

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務等であります。

3. 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2021年 4 月 1 日 至 2022年 3 月 31 日)
1 株当たり純資産額	6,993円66銭
1 株当たり当期純利益金額	222円69銭
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額	221円81銭

(注) 1. 1 株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度末 (2022年 3 月 31 日)
純資産の部の合計額	百万円	82,569
純資産の部の合計額から控除する金額	百万円	1,530
うち新株予約権	百万円	93
うち非支配株主持分	百万円	1,436
普通株式に係る期末の純資産額	百万円	81,039
1 株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数	千株	11,587

2. 1 株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度 (自 2021年 4 月 1 日 至 2022年 3 月 31 日)
1 株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,580
普通株主に帰属しない金額	百万円	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,580
普通株式の期中平均株式数	千株	11,587
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	百万円	—
普通株式増加数	千株	46
うち新株予約権	千株	46
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
現金預け金	216,178	186,733
現金	20,938	18,029
預け金	195,239	168,704
商品有価証券	523	563
商品国債	188	181
商品地方債	335	382
金銭の信託	1,000	1,000
有価証券	310,524	335,725
国債	67,332	59,522
地方債	64,901	65,903
社債	69,950	72,630
株式	18,956	17,304
その他の証券	89,382	120,363
貸出金	1,211,117	1,225,136
割引手形	4,135	4,547
手形貸付	12,230	10,573
証書貸付	1,081,593	1,094,971
当座貸越	113,158	115,043
外国為替	1,939	771
外国他店預け	1,932	666
買入外国為替	-	5
取立外国為替	7	99
その他資産	26,367	27,010
未決済為替貸	43	76
前払費用	55	67
未収収益	1,526	1,661
金融派生商品	107	466
金融商品等差入担保金	12	83
その他の資産	24,622	24,655
有形固定資産	16,639	16,535
建物	6,649	6,470
土地	9,114	9,000
リース資産	503	632
その他の有形固定資産	372	431
無形固定資産	469	614
ソフトウェア	360	515
リース資産	31	20
その他の無形固定資産	78	78
前払年金費用	12	7
繰延税金資産	2,214	4,726
支払承諾見返	4,658	5,344
貸倒引当金	△6,839	△6,173
資産の部合計	1,784,805	1,797,996

（単位：百万円）

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
負債の部		
預金	1,494,257	1,519,359
当座預金	71,534	71,138
普通預金	664,662	707,017
貯蓄預金	15,233	15,400
通知預金	2,321	2,395
定期預金	708,090	686,089
定期積金	8,371	8,387
その他の預金	24,042	28,930
譲渡性預金	69,400	-
債券貸借取引受入担保金	22,914	41,212
借入金	104,500	144,500
借入金	104,500	144,500
外国為替	9	9
売渡外国為替	0	3
未払外国為替	9	5
その他負債	5,279	8,514
未決済為替借	31	32
未払法人税等	914	422
未払費用	737	675
前受収益	611	672
給付補填備金	0	0
金融派生商品	936	1,850
金融商品等受入担保金	140	349
リース債務	572	694
資産除去債務	45	40
その他の負債	1,289	3,776
賞与引当金	440	441
退職給付引当金	432	413
システム解約損失引当金	-	295
支払承諾	4,658	5,344
負債の部合計	1,701,892	1,720,091
純資産の部		
資本金	10,816	10,816
資本剰余金	7,413	7,413
資本準備金	7,413	7,413
利益剰余金	61,803	63,345
利益準備金	8,670	8,670
その他利益剰余金	53,133	54,675
別途積立金	50,632	52,132
繰越利益剰余金	2,501	2,543
自己株式	△248	△246
株主資本合計	79,784	81,329
その他有価証券評価差額金	2,984	△3,793
繰延ヘッジ損益	71	274
評価・換算差額等合計	3,055	△3,518
新株予約権	72	93
純資産の部合計	82,912	77,904
負債及び純資産の部合計	1,784,805	1,797,996

（2）損益計算書

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
経常収益	21,874	21,229
資金運用収益	15,805	15,940
貸出金利息	12,567	12,560
有価証券利息配当金	3,114	3,069
コールローン利息	0	-
預け金利息	111	307
金利スワップ受入利息	12	-
その他の受入利息	0	2
役務取引等収益	4,078	4,298
受入為替手数料	965	886
その他の役務収益	3,112	3,411
その他業務収益	1,195	637
国債等債券売却益	1,102	637
その他の業務収益	92	-
その他経常収益	794	352
株式等売却益	515	65
金銭の信託運用益	9	6
その他の経常収益	270	280
経常費用	18,503	17,783
資金調達費用	568	480
預金利息	345	278
譲渡性預金利息	1	0
コールマネー利息	△1	△5
債券貸借取引支払利息	178	142
金利スワップ支払利息	-	9
その他の支払利息	44	55
役務取引等費用	1,102	1,089
支払為替手数料	166	124
その他の役務費用	936	964
その他業務費用	556	908
外国為替売買損	49	43
商品有価証券売買損	2	3
国債等債券売却損	380	812
国債等債券償還損	114	-
金融派生商品費用	9	48
営業経費	14,723	14,442
その他経常費用	1,552	862
貸倒引当金繰入額	1,329	541
株式等売却損	-	8
株式等償却	58	73
その他の経常費用	164	239
経常利益	3,370	3,445
特別利益	-	40
固定資産処分益	-	40
特別損失	27	355
固定資産処分損	0	0
減損損失	26	59
システム解約損失引当金繰入額	-	295
税引前当期純利益	3,343	3,130
法人税、住民税及び事業税	1,047	896
法人税等調整額	86	△5
法人税等合計	1,134	891
当期純利益	2,208	2,239

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	10,816	7,413	7,413	8,670	54,632	△3,065	60,236
当期変動額							
剰余金の配当						△637	△637
別途積立金の取崩					△4,000	4,000	-
当期純利益						2,208	2,208
自己株式の取得							
自己株式の処分						△4	△4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	△4,000	5,567	1,567
当期末残高	10,816	7,413	7,413	8,670	50,632	2,501	61,803

	株主資本		評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	△257	78,208	660	27	688	59	78,956
当期変動額							
剰余金の配当		△637					△637
別途積立金の取崩		-					-
当期純利益		2,208					2,208
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	9	5					5
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			2,323	43	2,366	13	2,379
当期変動額合計	9	1,576	2,323	43	2,366	13	3,956
当期末残高	△248	79,784	2,984	71	3,055	72	82,912

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	別途積立金	
当期首残高	10,816	7,413	7,413	8,670	50,632	2,501	61,803
当期変動額							
剰余金の配当						△695	△695
別途積立金の積立					1,500	△1,500	-
当期純利益						2,239	2,239
自己株式の取得							
自己株式の処分						△1	△1
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	-	1,500	42	1,542
当期末残高	10,816	7,413	7,413	8,670	52,132	2,543	63,345

	株主資本		評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	△248	79,784	2,984	71	3,055	72	82,912
当期変動額							
剰余金の配当		△695					△695
別途積立金の積立		-					-
当期純利益		2,239					2,239
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	2	0					0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）			△6,777	203	△6,573	21	△6,552
当期変動額合計	2	1,544	△6,777	203	△6,573	21	△5,008
当期末残高	△246	81,329	△3,793	274	△3,518	93	77,904

5. その他
（役員等の異動）
別途開示いたします。